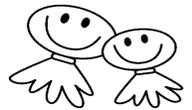


6月の園だより



令和6年6月 富田林市立錦郡幼稚園

『親』は木（の上）に立って見る」

～ ともに遊び ともに楽しみながら ～

今年度も早2ヶ月が過ぎました。園庭のみどりもなお一層その量を増やし、そして濃くなってきました。この自然の変化に沿うかのように、のびのびと過ごしながら、いろいろなことに挑戦したり、新しいことに気づいたりするこどもたちを見ることも多くなってきました。と同時に、一本一本の草木が数を増し、色濃くなっていくからこそ、園庭全体が深みを増してくるようになり、一人一人のこどもの成長があるからこそ、こどもたちの集団全体の伸びに繋がっていくということ、そして全体の伸びが個々のこどもの更なる成長を生み出していることも実感しています。

過日開催しました『春のつどい』では、たくさんの人たちに、楽しく元気に活動する姿を見ていただくとともに、親子競技やふれあい遊びと、保護者のみなさんにも参加していただき、こどもたちと一緒に楽しんでいただくことができました。早々に寄せていただいた保護者感想文には「始まるまで、下の幼児さんたちを楽しませるなど、家では見れない部分が見れて良かったです。親子競技では、日頃なかなか触れ合えない事も多いので、一緒に楽しく競技に参加できて良かったです(そら組)」

「はな組さんになって、できる事がどんどん増えてきたのは日々感じていましたが、始まってすぐの体操をする為に並ぶ様子が、ほし組さんの時に、先生に手を引かれて並んでいたのと大違いで、自分で決められた位置について、驚きとともに成長を感じました。なにより皆がすごく楽しそうに踊っていたので、見ていてすごく楽しかったです(はな組)」など、こどもたちのさまざまな姿を見ることの楽しさや喜びが詰まっていました。

『親』という字は、「木（の上）に立って見る」と書きます。もちろん、上から視線（指示や命令ばかり）や監視という意味ではありません。高所大所、時には視点を変えて、こどもたちの成長を楽しみながら温かく見守っていきましょう。我々職員も、「幼稚園の『親』」として、ともに歩んでいきます。

園長 塩野 義和

育てたいこと

3歳児

- ・友達や先生と過ごす中で、自分のしたい遊びを十分楽しむ。
- ・梅雨ならではの自然に興味をもち、関わることを楽しむ。

4歳児

- ・自分の思いを表しながら先生や友達と好きな遊びを楽しむ。
- ・梅雨期の身近な自然事象や生き物に興味や関心をもつ。

5歳児

- ・友達と一緒に遊ぶ中で互いに思いや考えを伝え合う心地よさを味わう。
- ・梅雨期の自然現象や植物の生長に触れ、興味関心をもって遊ぶ楽しさを味わう。